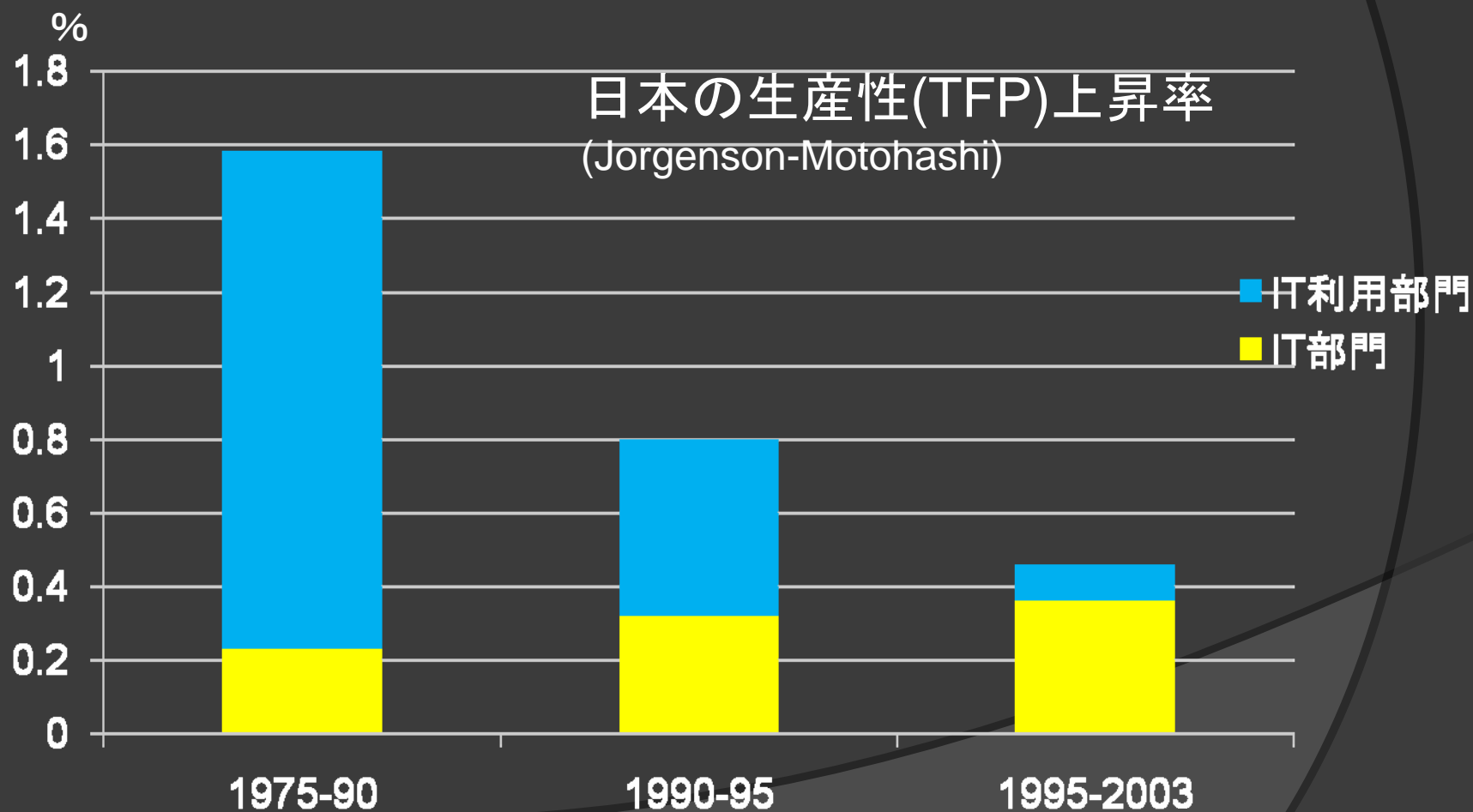


電波ビッグバンの提案

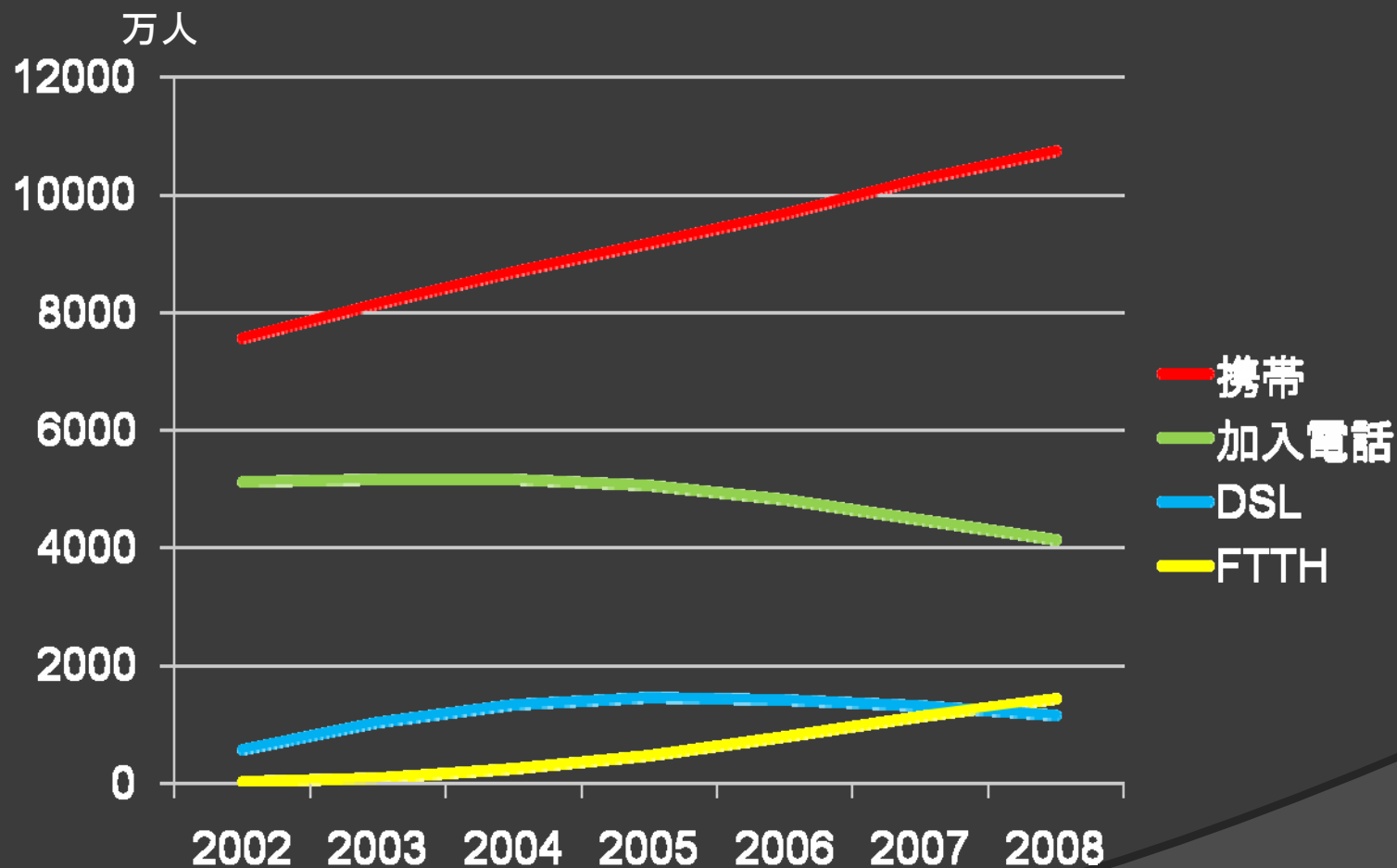
池田信夫

ITは経済成長のエンジン

利用効率の悪さが経済停滞の原因



通信の主流は無線に

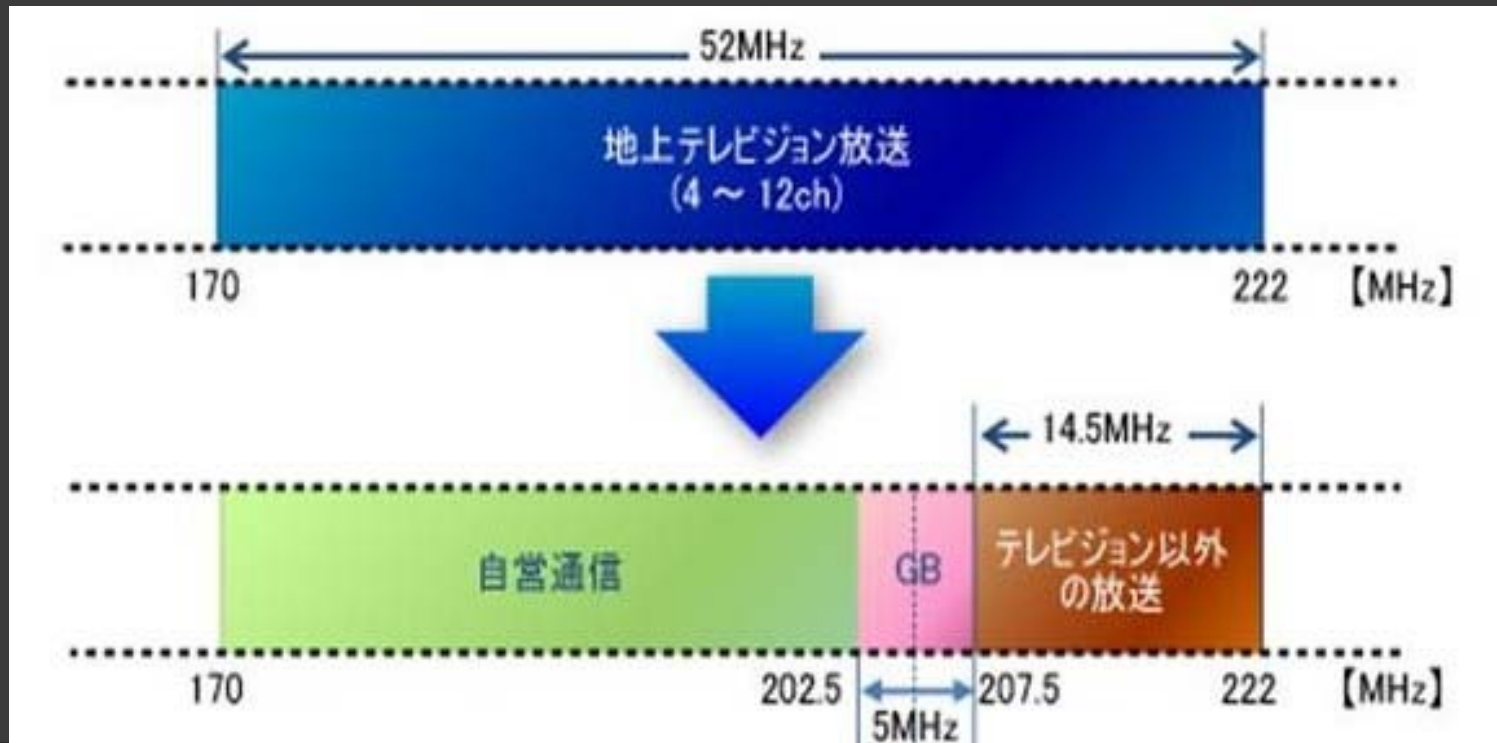


電波が足りない

- ◎ 浪費される電波：90%以上が使われていない
- 免許の「割当」より用途の「分配」が問題
- 業務用無線：3GHz以下の4割を浪費
- テレビ：UHF帯を占拠して使っていない
- ◎ 2011年7月：アナログ停波で300MHz空く
- 500～800MHz：時価4兆円の「電波埋蔵金」
- FCCは「500MHz開放」（全米BB計画）
- ◎ 原因は官僚が電波を配給する電波社会主義

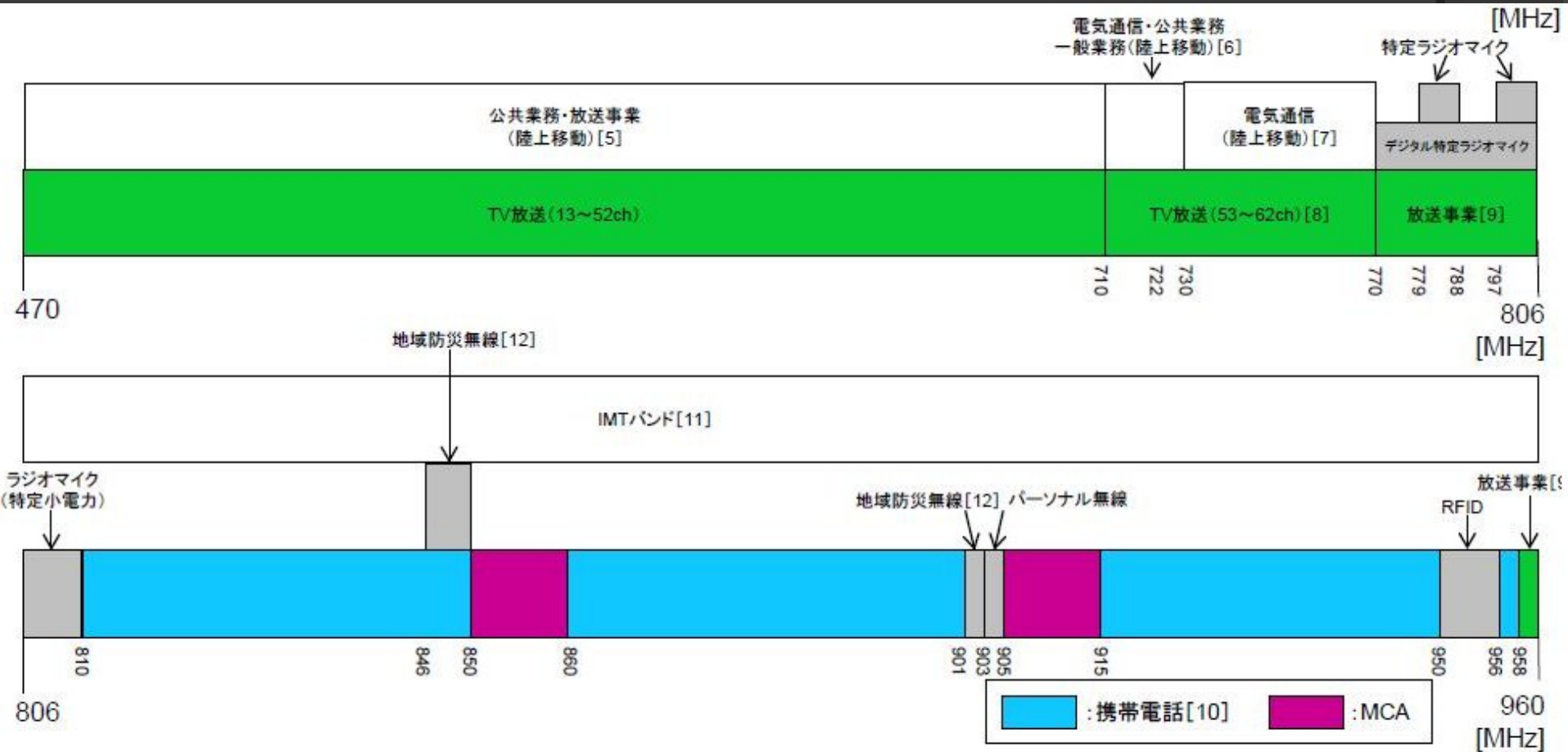
VHF帯

- ◎ アナログ放送の跡地（2011年7月～）
 - 4～9ch：方式決まらず混乱
 - 10～12ch：2グループ対立



UHF帯

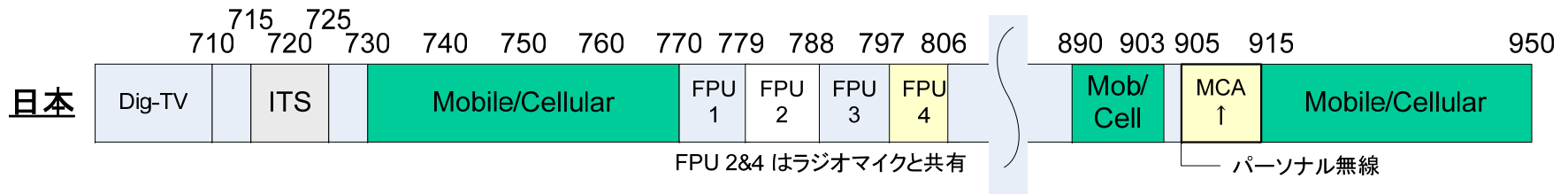
- ◎ 地デジが40ch(240MHz)占拠
 - 使っているのは10ch(60MHz)以下



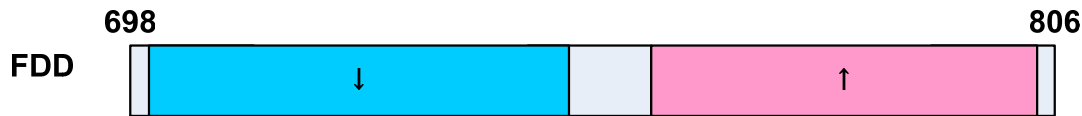
700MHz帯のガラパゴス化

次世代のiPhone/iPadは日本で使えない

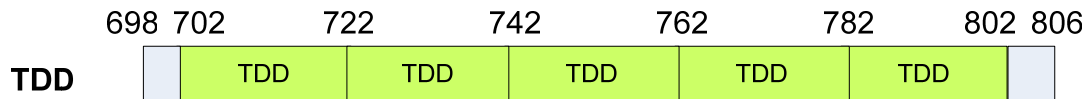
700MHz IMT 帯域割当計画 (2012年7月以降)



AWF案[1]



698 - 806 MHzに、45MHz x 2、中央離隔 10 または 11MHz。DL/UL配置TBD。



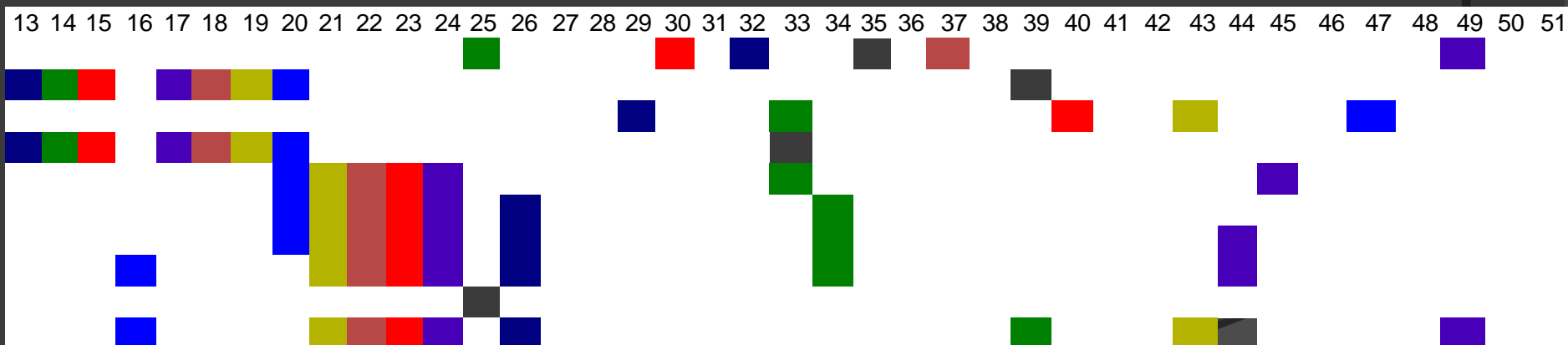
[1] ASIA-PACIFIC TELECOMMUNITY Document AWF-8/OUT-08, 1 April 2010

周波数割り当ての再検討を

- ◎ 710～730MHz：ITS
 - 車車間通信：商用化のめど立たない
- ◎ 770～806MHz
 - **FPU**：月に数十時間しか使っていない
 - ラジオマイク：ホワイトスペースに移せる
- ◎ 850～60/905～15MHz：MCA
 - **特殊法人**（天下り先）：利用者30万人未満
- ◎ 901～905MHz：地域防災・パーソナル無線
 - 1日に1回ぐらいしか使われていない

ホワイトスペース

- ◎ 地デジのチャンネルのすきま
 - 30ch(180MHz)以上が未利用
 - FCC：免許不要の無線LANに割り当て
 - 13～22chに集めることも可能



2011年7月：ビッグバンのチャンス

- ◎ VHF帯：周波数オークション
 - 失敗したら第二市場で免許を転売
- ◎ 470～710MHz：ホワイトスペース
 - 無線LANに免許不要で開放
- ◎ 700MHz帯：国際周波数に合わせる
 - 698～806MHz開放：5～6スロットでオークション
- ◎ 800～900MHz帯：MCA→次世代携帯
 - 880-915/925-960MHz：世界標準バンド
- ◎ 1.7GHz帯：国際周波数：オークションで割当

電波行政の転換

